HOKKAIDO SAPPORO KOTONI TECHICAL HIGH SCHOOL

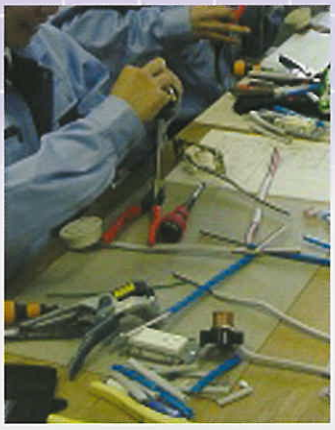
琴工

KINKOH

学校案内











校章の表現

本校の校章は亀甲型の雪の結晶を図案化したものである。それは北海道の学校であるとの見地から、その名に恥じない雪国の雪を表現した。雪は正義と堅忍不抜を意味し、質実剛健な校風を表徴したものである。

校訓

報恩效誠

錬心清志

実践躬行

北海道札幌琴似工業高等学校

充実した4学科　道

電子機械科

Mechatronics

ものづくりはひとづくり

[きみもスペシャリストになろう]

私たちが利用する自動車、鉄道、地下鉄、電化製品の冷蔵庫やエアコンなど、ガス・電気・水道の施設など、生活に関わるすべてのものに対して、電子機械科では関わります。特に近年は、エレクトロニクスを組合わせ、自動化・高機能化の方向に進んでいます。電子機械科では、技術のスペシャリストを目指します。

攻めの技術！


▲インターンシップ配管実習


▲課題研究


▲インターンシップ自動車実習


▲エンジン分解組み立て実習


▲機械加工旋盤実習


▲アーク溶接実習

取得可能な　主な資格

★国家技能検定（ものづくり技術者のスタンダード）
- ●3級旋盤作業　●3級仕上げ組立て作業
- ●3級シーケンス作業

（工業高校生は受験料の減免制度あり）
（在学中に2級まで受験可能）

★自動車整備士3級
（機械系工業高校の場合卒業後、実務経験6ヶ月で取得可能）

全員受験
- ●アーク溶接特別教育
- ●ガス溶接技能講習
- ●初級CAD検定

希望者受験（補習あり）
- ●2級ボイラー技士
- ●危険物取扱者
- ●初級CAD検定
- ●第二種電気工事士

教育課程　平成25年度入学生～

単位数　5　10　15　20　25　30

1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	工業技術基礎	製図	情報技術基礎	機械工作	機械設計	LHR	
2年	現代文B	現代社会	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	電子機械実習	電子機械製図	生産システム技術	機械工作	機械設計	LHR	
3年	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語会話	選択	課題研究	電子機械実習	電子機械製図	生産システム技術	機械設計	電子機械	LHR	

選択科目…文章表現・日本文化・実用数学・物理基礎・化学基礎・総合英語講読・原動機
※「総合的な学習の時間」の履修は「課題研究」の履修をもって代替
普通教科科目「情報の科学」の履修は「情報技術基礎」の履修をもって代替
平成31年度より一部変更されます

内有数の施設・設備

Electric

電気科

生活に欠かすことのできない電気について学ぼう

電気科では私たちの身の回りにある電化製品や電車などに使われるモーター、発電所から家庭に至るまでの送電・配電のしくみ、電気配線の工事、ラジオ・テレビなどの通信について学習します。また、コンピュータについてはパソコンを用いて体験的に学び、電気技術者としての必要な基礎知識を幅広く学習します。

次世代の電気を君の手で！



▲第二種電気工事士全員合格

第二種電気工事士合格率

H26年度卒業生	94.9%
H27年度卒業生	96.0%
H28年度卒業生	100%
H29年度卒業生	98.6%


▲電動機の特性試験


▲札電協青年部による出前授業（企業連携事業）


▲シーケンス実習


▲インターンシップ


▲課題研究発表会


▲施設見学会


▲第二種電気工事実習

取得可能な　主な資格

★**第三種電気主任技術者**
（卒業後3年間の実務経験により申請で取得できます）

★**第一・二種電気工事士**
（第二種は卒業後筆記試験が免除されます）

- 工事担任者
- 二級ボイラー技士
- 危険物取扱者
- 消防設備士
- 計算技術検定
- 情報処理技能検定
- 特殊無線技士

教育課程

平成25年度入学生～

	単位数 5	10	15	20	25	30
1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	工業技術基礎	情報技術基礎	電気基礎	LHR
2年	現代文B	現代社会	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	電気実習	電気基礎	電気機器	電子技術	LHR
3年	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語会話	選択	課題研究	電気実習	電気製図	電気機器	電力技術	LHR

選択科目…文章表現・日本文化・実用数学・物理基礎・化学基礎・総合英語講読・ソフトウェア技術

※「総合的な学習の時間」の履修は「課題研究」の履修をもって代替
普通教科科目「情報の科学」の履修は「情報技術基礎」の履修をもって代替
平成31年度より一部変更されます

恵まれた環境で先端技術を

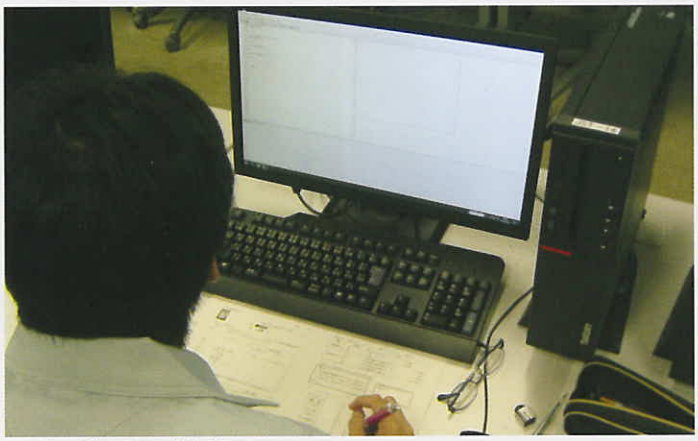
情報技術科

Information

豊かな生活を支える未来のスペシャリストを目指し
IT時代の最新技術を一緒に学ぼう

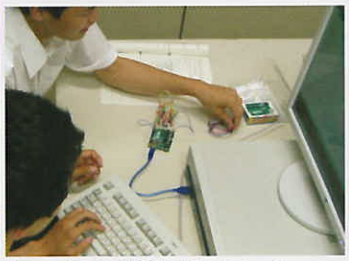
コントロールしたい『モノ』を考え、その電子回路を設計し、ハンダ付けで組み立て、マイクロコンピュータを接続してプログラミングします。さらにインターネットで通信させるとIoTとなります。スマートフォンなどに代表される情報機器がまさにこれです。
情報技術科ではこの基礎となる知識・技術を身につけ、実習で実践していきます。

時代をコントロールするのは、君だ！


▲プログラミング実習


▲電子計測実習


▲シーケンス制御実習


▲マイコン実習（Arduino）


▲探査ロボット製作（課題研究）

取得可能な　主な資格

★**工事担任者 DD第3種・AI 第3種**
（卒業後、試験科目『基礎』が免除されます）

★**第二級陸上特殊無線技士**
（卒業時、全員が取得できます）

- ●工事担任者
- ●ＩＴパスポート
- ●基本情報技術者
- ●無線技士
- ●計算技術検定
- ●情報技術検定

教育課程

平成25年度入学生～

	単位数 5	10	15	20	25	30
1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	工業技術基礎	情報技術基礎	電気基礎	LHR
2年	現代文B	現代社会	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	情報技術実習	電気基礎	電子回路	ハードウェア技術	LHR
3年	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語会話	選択	課題研究	情報技術実習	電子回路	通信技術	ハードウェア技術	LHR

選択科目…文章表現・日本文化・実用数学・物理基礎・化学基礎・総合英語講読・ソフトウェア技術
※「総合的な学習の時間」の履修は「課題研究」の履修をもって代替
普通教科科目「情報の科学」の履修は「情報技術基礎」の履修をもって代替
平成31年度より一部変更されます

学び、君の個性を伸ばそう!

Environment

化学技術で暮らしを支える技術者へ

地球環境を意識した学び

環境化学科

私たちの身の回りには様々な化学製品（プラスチック、ガラス、ガソリンなど）があり、化学技術の進歩によって暮らしは便利になりました。しかし、その一方で環境汚染やエネルギー不足などの環境問題が生じています。環境化学科では化学の技術や基礎知識を幅広く学び、化学合成や環境に関わる分析などを実践的に学習します。

環境を意識した技術者へ！



▲空中落下菌の捕集と観察



▲化学工学実習



▲有機物の純度の測定



▲中和滴定



▲有機物の合成

取得可能な　主な資格

●毒物劇物取扱責任者　●二級ボイラー技士　●情報技術検定　●計算技術検定
●危険物取扱者

教育課程

平成25年度入学生～

	単位数 5	10	15	20	25	30
1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	工業技術基礎	環境化学実習	情報技術基礎	工業化学	LHR
2年	現代文B	現代社会	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	環境化学実習	工業化学	化学工学	LHR
3年	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語会話	選択	課題研究	環境化学実習	環境化学製図	工業化学	化学工学	地球環境化学	LHR

選択科目…文章表現・日本文化・実用数学・物理基礎・化学基礎・総合英語講読・化学工学

※「総合的な学習の時間」の履修は「課題研究」の履修をもって代替
普通教科科目「情報の科学」の履修は「情報技術基礎」の履修をもって代替
平成31年度より一部変更されます

光あふれる青春の広場で生きる力を身につけ友情を育てよう。


宿泊研修


学校祭


体育文化大会


見学旅行


見学旅行


遠足


壮行会


遠足


遠足

年間主要行事（全日制）

1学期

始業式・入学式
対面式
新入生オリエンテーション（1学年）
定期健康診断
生徒総会
壮行会
遠足
学校祭（琴工祭）
定期考査

2学期

生徒会役員選挙
見学旅行（2学年）
定期考査
秋季体育・文化大会

3学期

スキー授業
宿泊研修（1学年）
卒業式
定期考査
春季体育・文化大会

体育系

●硬式野球部　●サッカー部　●空手道部　●卓球部
●バレーボール部　●バスケットボール部　●陸上競技部
●弓道部　●バドミントン部　●ハンドボール部
●ソフトテニス部　●ワンダーフォーゲル部　●剣道部
●ウエイトリフティング部　●硬式テニス部　●柔道部

文化系

●吹奏楽部　●ロボット研究部
●化学部　●フォークソング部
●写真部　●コンピュータ部
●ＩＴエンジニア部　●茶道部

その他

●新聞局　●図書局
●放送局
●アニメーション同好会
●機械制御同好会


















君のガンバリ、
応援してくれる仲間がいる。

定時制

授業は午後5時40分～午後9時05分

電子機械科・電気科

Mechatronics Electric

よくわかる授業・面白い実習
優しく親切な先生



▲電子機械科の実習



▲学校見学会（各科の実習を見学します）



▲校舎に明かりが灯り、学校生活がスタート



▲電気科の実習



▲給食

アクセス

①ＪＲで発寒中央駅・発寒駅下車　徒歩15分
②地下鉄東西線で宮の沢駅下車　徒歩25分
③ＪＲバスで琴似工業高校前下車
　地下鉄宮の沢駅前－手稲駅北口
　　新発寒線［宮49］［宮49－1］稲積線［宮74］
　地下鉄宮の沢駅前－北海道科学大学
　　新発寒線［宮79］［宮79－1］
　地下鉄琴似駅前－地下鉄宮の沢駅前
　　琴似八軒線［琴40］
④中央バスで琴似工業高校下車
　地下鉄琴似駅－新川営業所　　新川発寒線［西48］
　北34条駅－宮の沢駅　　新道西線［西66］
　札幌駅前－新川営業所　　新川八軒線［西71］
　地下鉄麻生駅－宮の沢駅　　麻生宮の沢線［麻67］





安い！うまい！あたたかい！
豊富なメニュー、栄養もたっぷり
学校給食

1食160円（H30）

給食は、午後5時からと午後6時30分からの2回です

北海道札幌琴似工業高等学校

〒063-0833　札幌市西区発寒13条11丁目3番1号
TEL代表(011)661-3251　FAX(011)661-3252　定時制(011)661-3253
URL　http://www.sapporokotonikougyou.hokkaido-c.ed.jp/
E-mail　sapporokotonikougyou-z0@hokkaido-c.ed.jp(全日制)
　　sapporokotonikougyou-t0@hokkaido-c.ed.jp(定時制)